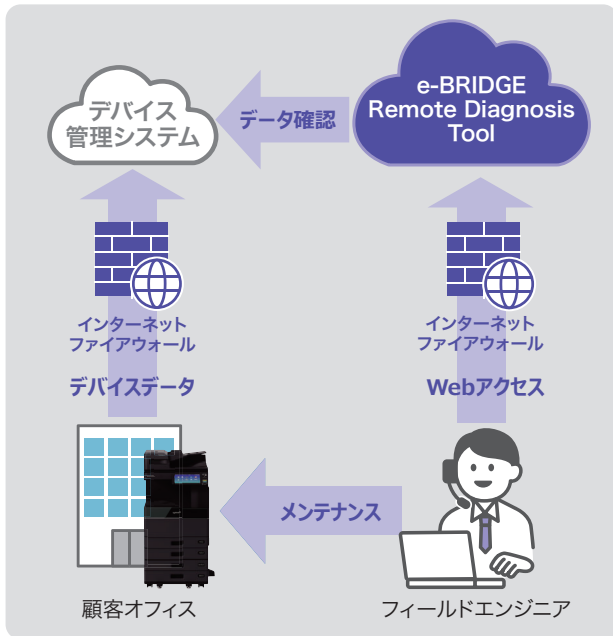


リテール&プリンティング

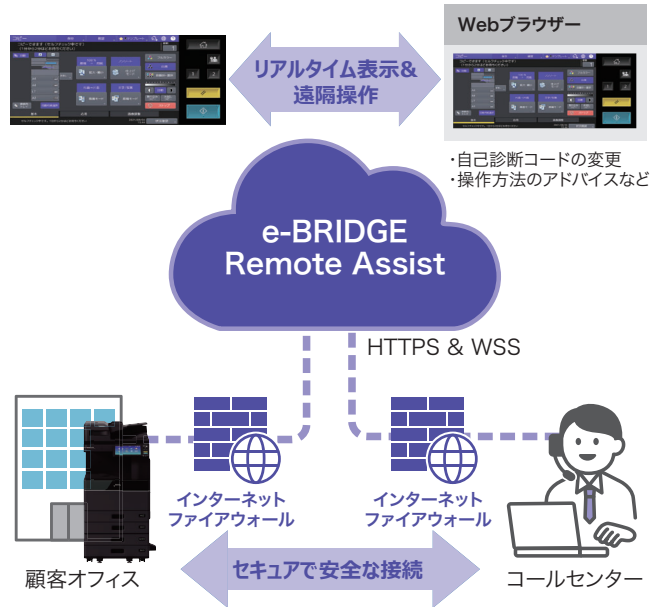
Retail and Documentation Solutions

人々の生活が大きく変化している中、店舗向けPOS（販売時点情報管理）システムで非接触での接客を可能にする技術や、複合機事業におけるメンテナンスの省力化、リモートワークに対応した働き方改革ソリューションなどを開発しています。

複合機の保守作業の効率化とリモートメンテナンスを支援するクラウドサービス



e-BRIDGE Remote Diagnosis Toolを利用した複合機のメンテナンス
Overview of maintenance of multifunctional peripheral (MFP) using e-BRIDGE Remote Diagnosis Tool



HTTPS: Hypertext Transfer Protocol Secure
WSS: WebSocket Secure

e-BRIDGE Remote Assistを利用したリモートメンテナンス
Overview of remote maintenance service using e-BRIDGE Remote Assist

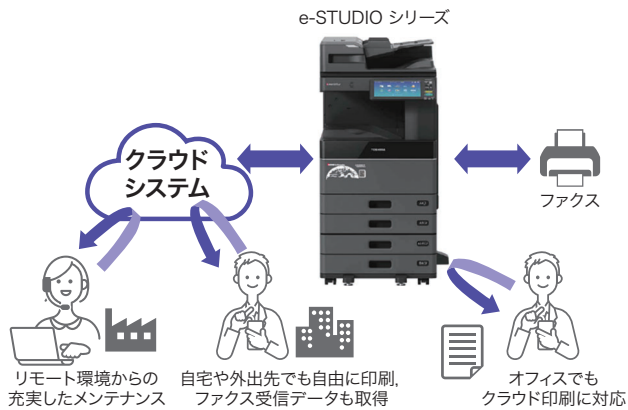
複合機事業のビジネスモデルでは、アフターセールスでの収益性向上が重要となる。特に、メンテナンスのためのフィールドエンジニアの訪問はコストに直結するため、訪問回数削減のための施策を推進しており、そのためのツール開発も進めている。

e-BRIDGE Remote Diagnosis Toolは、種々のデータを元に、顧客の環境に配置された複合機の状態を、訪問前にリモートでビジュアル化して確認・診断することで、フィールドエンジニアが一度の訪問で確実に複合機をメンテナンスできるようする。複合機からデバイス管理システムへアップロードされたデータを、e-BRIDGE Remote Diagnosis Toolが整理解析し、結果をWebアプリケーション上で提供する。過去に発生したエラーの履歴情報やその傾向などを表示したり、利用状況とは関係なく発生するパーツの故障を予測したりすることで、フィールドエンジニアが、発生した不具合の原因を推測するだけでなく、不具合が起こりそうな箇所を通常点検時に先回りしてメンテナンスすることを目指している。

e-BRIDGE Remote Assistは、顧客の環境で発生した画質トラブルや機器設定の問い合わせに対し、対象となる複合機のパネルをコールセンターとリモートで共有するツールで、顧客を訪問せずに迅速に問題解決できるようにする。コールセンターが準備した認証コードを顧客が操作パネルから入力することで、コールセンターと複合機の間をセキュアかつ安全にリモート接続できる。リモート接続が開始されると、パネルの画面を共有するだけでなく、コールセンターからのパネル操作も可能となる。これにより、コールセンターのオペレーターが視覚的に機器設定手順を伝えるとともに、原因となっている設定の調整や顧客が不慣れなパネル操作を、コールセンターから実施して解決することが可能となる。

東芝テック(株)

■ クラウド連携機能で働き方の多様化に対応するA3複合機e-STUDIOシリーズ



e-STUDIO seriesとクラウド連携機能の接続例

Example of connections between e-STUDIO series MFP and functions in conjunction with cloud services

多様化するユーザーの働き方（ハイブリッドワーク）に対応して、複合機をより安心・安全・快適に利用できるように、クラウド連携機能を新たに搭載した製品をリリースした。新しく搭載したクラウド連携機能は、次のとおりである。

- (1) クラウド印刷サービスである Universal Print 機能に対応し、在宅勤務などにおける様々なワークスペースで印刷が可能
- (2) 外部のクラウドサービスにログインし、既存のプリントサービスや、マネージドドキュメントサービスなどの外部サービスが利用できるようになり、業務効率を改善
- (3) クラウドシステムを利用し、リモート環境からのサービス担当者のパネル操作によるリアルタイムなサポートの提供や、故障予測アプリケーションを用いた故障前のパーツ交換メンテナンスを可能とすることで、複合機のダウンタイムを短縮
- (4) ファクス受信原稿をクラウドシステムへ転送する機能により、在宅勤務などでのワークスペースでもファクス内容の確認が可能

東芝テック(株)

■ 省スペースで高速のエントリークラスのデスクトップバーコードプリンター BV400D



LCDモデル
(BV410D-GS/TS)

LEDモデル
(BV420D-GS/TS)

BV400D シリーズ デスクトップバーコードプリンター
BV400D series desktop barcode printers

普及機市場の徹底的なベンチマークを行い、低価格で前機種からの置き換えが容易な、エントリークラスのデスクトップバーコードプリンターを開発した。特長を次に示す。

- (1) 電源及びI/F（インターフェース）のコネクターが外に出ない配置とすることで、前機種に比べて設置面積を約10%削減し、業界最小^(注1)の設置面積を実現
- (2) このクラスで業界最高^(注2)の印字速度7 ips (inches per second) を実現
- (3) 操作パネルにLED（発光ダイオード）を採用し、操作キーを増やし、更にこのクラスで他社にはないLCD（液晶ディスプレイ）モデルを投入して、視認性及び操作性を向上
- (4) 5 GHzの無線LANを採用するとともに、HTTPS（Hypertext Transfer Protocol Secure）などのセキュリティプロトコルをサポートし、接続性を向上
- (5) I/Fの最適化や標準サーマルヘッド採用などの徹底したコスト削減施策により、市場競争力のある製品を実現
- (6) カスタマイズでき、将来のソリューション展開も可能

(注1) 2021年11月現在、当社調べ。

(注2) 2021年11月現在、当社調べ。

東芝テック(株)

■ 小型・高利得のRFIDハンドリーダー UF-3000



UF-3000
UF-3000 handheld radio-frequency identification (RFID) reader

RFID(無線ICタグ)ハンドリーダーは、RFID関連ソリューションビジネスを展開するためのキーコンポーネントである。今回、その新機種として、UF-3000を2021年4月に発売した。

UF-3000は、直線偏波アンテナを採用することで、アンテナの小型化と高利得化の両方を同時に達成し、2014年発売の前機種UF-2200に比べ、読み取り距離を1.2倍(9m)に、読み取り速度を1.3倍(800枚/秒)に、それぞれ向上させている。

また、ハンドグリップを簡単に脱着でき、ふだんはPOS(販売時点情報管理)で据え置き型リーダーとして使用し、棚卸し時にはハンドリーダーとして使用することが可能である。そのほか、ゲート、ピッキングカートなど、様々な用途に使用可能である。

東芝テック(株)

■ 幅広い顧客ニーズに対応した電子レジスター MA/FS-3055



MA-3055
MA-3055 electronic cash register

量販店や、専門店、飲食店、物販店などの様々な小売り現場において、シンプルな操作性が好まれる個人経営の店から高い拡張性を持つ多機能レジが好まれる中規模店舗まで、幅広いニーズに対応できるシンプルかつ高機能の電子レジスターを開発し、MA/FS-3055シリーズとして2021年2月にリリースした。

キーボード、レシートプリンター、客面金額表示部、ドロワーが備わった一体型構成であり、単体で簡単に使える手軽な電子レジスターでありながら、ネットワーク接続して店内で会計システムを構築できる拡張性の高さを併せ持つ。クレジット端末、自動釣り銭機、非接触カードリーダーなどの豊富な周辺機器との接続により、キャッシュレスなどの様々な会計シーンへの対応を可能とした。プリンターはオートカット機能を持つレシートプリンター、及び巻き取り機能を持つジャーナルプリンターを搭載し、電子ジャーナルにも対応可能となっている。また、データバックアップ用の内蔵バッテリーを搭載し、不意の停電からのデータ保護機能も搭載している。

東芝テック(株)